



忍路

教 育 目 標

かしこく
やさしく
たくましく

令和7年3月24日

忍路中央小学校

忍路中学校

学校だより12号



1年間ありがとうございました

校長 本庄 有希子

3月24日の修了式をもって、忍路中学校と忍路中央小学校の1年間の教育活動が終了しました。大きな事件・事故もなく、児童生徒一人ひとりが健康で充実した学校生活を送ることができましたのも、保護者の皆さまや地域の方々のご理解とご協力の賜だと深く感謝申し上げます。

この1年を振り返ると、忍路中央小学校開校150周年記念の祝賀の雰囲気には満ち溢れていました。潮ねりこみでは卒業生や保護者の方にも参加していただき、単独の梯団として参加することができました。また、記念式典での全校合唱や地域学習発表会での子どもたちの頑張りは多くの方から賞賛の言葉を頂きました。

そして3月14日に中学校、19日に小学校の第78回卒業証書授与式がありました。中学校は4名、小学校は3名の児童生徒が本校を卒業していきました。中学校卒業式式辞の中で『発明家のトーマスエジソンは、「夜でも昼のように、光で明るく照らされる世界を作りたい」という思いから白熱電球を発明しました。もちろん、最初からうまくいったわけではありません。長い時間、光を出し続けるためには、電球のフィラメントを何の素材にするのが、一番の難題でした。新し素材を試しては失敗、また新しい素材を探して、試してみても失敗、その繰り返しでした。白熱電球の発明に成功をするまで、万回近く、実験を繰り返したと言われています。

ある新聞記者が、エジソンに「何万回も失敗をしてあきらめることはなかったのですか？」と質問をしました。その質問にエジソンは「あれは失敗ではありません。上手くいかない方法を一つ一つ確かめたのです。あきらめることが失敗なのです。」と答えました。

もしエジソンが一万回であきらめていたら、今の私たちの生活は暗闇のままだったかもしれません。

また、女子サッカー元日本代表の澤穂希さんは「壁にぶつかるからこそ 人は頑張れる」

カナダの精神科医エリック・バーンさんは、「過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる」という言葉を残しています。

過去の失敗にとらわれず、未来に向かって自分自身を変えていくこと。それが大事なのです。』と話をしました。

4月からの新しい年度でも、失敗を恐れず、児童生徒が何度でも立ち上がり、夢に向かって挑戦し続けることができるよう、全教職員で一人一人の可能性を引き出し、小中併置校の良さを生かした教育活動を行っていききたいと思います。



忍路中央小学校校旗の寄贈

忍路中央小学校150周年記念式典の際に、地域の方から「学校に何か寄贈したい」といううれしいお声をいただき、古くなった校旗を新調することとし、小学校卒業式で使用しました。大切に使用させていただきます。



小・中学校 卒業証書授与式

3月14日（金）には忍路中学校、19日（水）には忍路中央小学校の卒業証書授与式を挙行了しました。

中学校の卒業式答辞では卒業生全員が他校区から転入したことや忍路中だからこそ、心機一転を図ることができたことなどが述べられました。卒業式後の同窓会入会式では、福岡同窓会長より記念品の目録が紹介され、同窓会の役割や、激励の言葉がありました。

小学校の卒業式では、卒業生が自分の夢や在校生、保護者、先生方へのメッセージを立派に話していました。在校生も一人一人が、卒業生に感謝の気持ちを伝えるなど、小学生全員が思いを伝える場面があり、本当に素晴らしい卒業式でした。

卒業生のこれからの活躍を期待しています。



中学校 性に関する授業

3月6日（木）、小学校に続き、小樽市子ども家庭課の山下さんを講師とし、中学生へ性に関する授業を行いました。男女の体の性についてや、性感染症、表現する性や心の性、好きになる性など【性の多様性】について学びました。「違いがあって当たり前、お互いにその人らしさを認め合うことが大切です」と最後に山下さんからの話がありました。



小学校 絆づくりメッセージ表彰式

本校は全校でいじめ防止に向けて、絆づくりメッセージコンクールに取り組んでいます。今年度、本校児童の作品『認めよう 一人ひとりの もつ個性』が後志教育局の最優秀賞に選ばれました。表彰式では『ふつうは「認め合おう」とするとことを、「認めよう」としているところに、自分もしっかりと認めていくという強い気持ちが伝わってくる素晴らしい作品です。』と、講評もいただきました。これからいじめ防止に向けて全校で取り組んでいきます。



忍路小・中学校 転出者について

1年間、小中併置校を支えてくださった教職員の転出についてお知らせいたします。新任地や今後のご活躍をご祈念いたします。

＜佐野 英昭 教頭 高島小学校へ＞

管内唯一の小中併置校開校から3年間、保護者と地域の皆様に支えられ、貴重な経験をさせて頂きました。今年度は忍路中央小学校 150 周年記念式典を無事に挙行することができ、感謝の気持ちで一杯です。これからも学校、地域、保護者の皆様と一緒に、「かしこく やさしく たくましい」子どもを育てていくことを願っています。

＜丸山 さゆり 先生 銀山小学校へ＞

6年間、大変お世話になりました。小中併置になったおかげで、昔小学生だった子どもたちが、中学生になり立派に成長していく姿を見ることができました。小学生のみなさんも、出会ったときと比べると、どんどんたくましく成長していききましたね。開校 150 周年をお祝いできたこと、混声合唱の COSMOS を指揮できたこと、最高に幸せでした。ありがとうございました。

＜後藤 厚宏 先生 塩谷小学校へ＞

小樽で最も歴史があり、自然に恵まれた環境で子どもたちと共に過ごした時間は、私にとってとても貴重なものでした。2年間、本当にありがとうございました。今後も、子どもたちの健やかな成長をお祈りしています。

＜鈴木 瑞穂 先生 ご勇退＞

忍路中央小学校・忍路中学校の皆さんと過ごせたこの1年に、感謝の気持ちで一杯です。様々な行事を通して保護者や地域の皆さんと交流できたことや、一緒に小学校 150 周年をお祝いできたことも嬉しかったです。ありがとうございました。

＜高橋 政伽 先生 向陽中学校へ＞

忍路小中学校に教員生活始めて赴任して、あっという間の1年間でした。素直で明るい子どもたちと心強い保護者の皆様、先生方にたくさん支えてもらい、1年間がとても充実したものとなりました。忍路小中学校で学んだことを礎に、これからも前を向いて進んでいきます。ありがとうございました。

＜山崎 未果 養護教諭 幸小学校へ＞

忍路では、併置前の中学校で5年間、併置後3年間の計8年間という長い間、お世話になりました。可愛らしい小学生と中学生に囲まれて過ごした時間は、私の宝物です。保護者のみなさま、大変お世話になりました。

忍路中 令和7年度入学式

忍路中入学式を次の日程で行います。学校関係者の皆様には、お忙しいとは思いますが、ご臨席のほど宜しくお願いします。

日時 令和7年4月7日（月） 10:30開式
会場 忍路小中学校体育館